

## 下川淵公民館 家庭教育学級

### わくわくクラブ

#### (1) ねらい

- ①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、子ども生活や子育てについて学習しながら、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。
- ②幼児期の成長に必要な健康面・遊び・創作活動など、保護者とふれあいながら楽しく学ぶ機会とする。

#### (2) 概要

- ①対象者：主に地区在住の1歳半から3歳児を持つ親と子20組
  - ②募集方法：館報及び館内掲示、チラシ配布、ホームページ掲載
  - ③共催：七中地区子育て支援センター（上陽保育園）
- ※平成19年度～保育士派遣（家庭教育学級に月1回）、教材提供等
- ④託児協力：前橋友の会

#### (3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	講師	組数
1	8/3(水) 10:00～ 11:30	開級式・親子で楽器遊び	七中地区子育て支援センター（上陽保育園）	
2	8/4(木) 10:30～ 11:00	水遊びをしよう	下川淵保育所	
3	8/22(月) 10:00～ 12:00	イライラママからにこにこママへ～親子で1日を気持ちよく過ごすために～	前橋友の会	
4	9/12(月) 10:00～ 11:30	9～10月のカレンダー作り	七中地区子育て支援センター（上陽保育園）	
5	9/26(月) 10:00～ 11:30	運動会ごっこ 閉級式	七中地区子育て支援センター（上陽保育園）	

※応募者少数のため中止

### にこにこクラブ

#### 「クリスマスの飾りをつくろう」

#### (1) ねらい

- ①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。
- ②子どもの成長に必要な創作活動を保護者とふれあいながら楽しく行い、創造力を高め親子の絆を深める。

## (2) 概要

- ①対象者 地区在住の年長・年中児をもつ保護者をその子8組
- ②募集方法 館報掲載・館内掲示・チラシ配布・ホームページ掲載

## (3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	講師	組数
1	12/ 9(金) 15～17:00	クリスマスの飾りづくり (折り紙やクラフト紙使用)	地区在住講師 萩原 貴子	8

## (4) 評価と反省

インターネットがあればなんでもできる現代に、折り紙などを人の手から直接教わることはコミュニケーション不足の解消となったと考える。子どもと一緒に手を動かし、2時間つきっきりで細かい遊びをすることがなく、とても良い機会となったという感想をいただいた。

作業は小さい子どもが1人でやるには難しく、保護者と一緒にやってもらうことでコミュニケーションを生むねらいがあったが、子どもを気にせず保護者同士で話しながらやってしまう参加者がいたことが残念だった。また急遽開催することとなったため、時間配分などの検討が不十分であり、作業が慌しくなってしまったことが反省点である。



## 「和菓子をつくろう」

### (1) ねらい

- ①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。
- ②子どもの成長に必要な創作活動を保護者とふれあいながら楽しく行い、創造力を高め親子の絆を深める。

## (2) 概要

- ①対象者 地区在住の小学生をもつ保護者とその子8組
- ②募集方法 館報掲載・館内掲示・チラシ配布・ホームページ掲載

## (3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	講師	組数
1	3/ 4(土) 9~10:20	桜まんじゅう ~いっしょに作ってみよう~	笛木京子	8

## (4) 評価と反省

少年教室と同日開催で和菓子づくり講座という初の試みであったが、普段の生活であまり取り入れることのないもの（内容）だったため実施前から人気が高く、また実施後の参加者の満足度もとても高かった。違う時期には違う和菓子づくり教室をやってほしいという声も多く、日本ならではの四季を感じる内容の講座を今後随時開催できるようにしていきたい。

また、家にあるもの（例 小麦粉や砂糖）に少しの買い物（例 あんこやベーキングパウダー）で材料が揃い、まぜる・つつむ・蒸すという3工程でとても簡単お手軽にできるレシピが大変好評であった。講座で習ったことを家に帰ってから家族一緒に再現しやすいので、凝ったものもよいが、今回のように簡単で楽しい内容の講座も行っていきたい。

## 少年教室

### 夏休み教室

#### (1) ねらい

- ①夏休みを利用して、昨今減少傾向にある「体験」の場を提供することにより、次代を担う子どもたちの好奇心や創作心・生きる力を養うことを目的とする。
- ②それぞれの活動で学校・家庭とは異なる学びにより、子どもたちの視野を広げる。

#### (2) 概要

##### ①対象

- 創作教室 地区在住小学3年生～6年生20人  
クラフト教室 地区在住小学3年生～中学3年生20人  
科学教室 地区在住小学生16人×2回  
食育教室 地区在住小学生16人（低学年は保護者と参加）
- ②募集方法 館報掲載・館内掲示・チラシ配布・ホームページ掲載

#### (3) 内容

##### ①創作教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	7/21 (木) 10～12:00	陶芸教室 (成形) ～粘土をこねて形を作ろう～	制作	自主グループ 下川淵陶芸クラブ 会員 15人	20
2	8/ 4 (木) 10～12:00	陶芸教室 (色付け) ～色を選んで付けよう～			20
3	8/18 (木) 10～11:30	陶芸教室 (仕上げ) ～自分の作品に出会えるよ～			16

##### ②クラフト教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	7/27 (水) 10～12:00	リボンレイで ネックストラップづくり	制作	萩原 貴子 (地区在住講師)	16

##### ③科学教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	7/27 (水) 13～14:00	スライムを作ろう	実験	萩原 貴子 (地区在住講師)	16
2	7/27 (水) 14:30～15:30	スライムを作ろう			12

#### ④環境・食育教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	7/22（金） 9:30～12:00	～調理実習と食育のお話～ フライパンピザ・コンソメ不 使用の具たくさんスープ・手 づくりドレッシングサラダ	調理実習	笛木 京子	16

#### (4) 評価と反省

##### ①陶芸教室

1 テーブル5人に対し、講師（地区陶芸クラブ会員）が3～4名ずつつき、細かい気配りのご指導をいただき、児童が良い作品を作ることができた要因のひとつだったように感じた。

課題点として、講師がつきっきりになるために、大人の手が加わる ことが多かったことがあげられる。来年度は①手を出すのではなく、自分の力にあった形を提案する②途中で5分休憩をはさむなどしたい。

##### ②クラフト

クラフトは今年初の試みであったが大変好評で、自宅でも子どもがリボンレイを作っているという話を後日聞いた。教室に参加するだけで終わらず、その後の生活に活かしていることは良いことであると感ずる。

##### ③科学教室

時間をずらして2クラス設けたため、希望者を断わることなく全員 参加できたことは良かった。また、ただ説明通りにスライム作るだけではなく、最後に「実践」という形で子どもたち自身が「自ら考え」「確認し」「協力して」作業を行う時間をとったことは、子どもが生きる力を養うという本来の趣旨に沿った内容でとても有意義であったように感じる。他の教室でも意識したい3点だ。

##### ④食育教室

非常に多い品数を2時間で作ったため少し慌しいシーンもあったが、ほとんどの子どもたちが最後まで集中して取り組み時間内に片付けまで終わらせることができた。

実習内容を検討する段階で、「化学調味料・精製されたもの等、心身や地球環境に負担のあるものは使用しないでほしい」という旨を伝えてあり、協力してくださるとのこと、レシピを考えていただいた。だが、結果的にはドライイーストやケチャップ・普通のベーコン・白砂糖の使用があったことが残念だった。次回調理実習を行うときは材料や調理方法に更にこだわって、他の公民館にはない内容で、アレルギー体質の子どもでも安心して参加出来る食育講座を開催したい。



陶芸教室



クラフト教室



子どもたちの作品



科学教室



スライムの完成



食育教室

## 和菓子作り教室

### (1) ねらい

- ①昨今減少傾向にある「体験」の場を提供することにより、次代を担う子どもたちの好奇心や創作心・生きる力を養うことを目的とする。
- ②それぞれの活動で学校・家庭とは異なる学びにより、子どもたちの視野を広げる。

### (2) 概要

- ①対象 地区在住小学生12人
- ②募集方法 館報掲載・館内掲示・チラシ配布・ホームページ掲載

### (3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	3/4(土) 10:20~12:00	桜もち ～じぶんでやってみよう～	調理実習	笛木 京子	16

### (4) 評価と反省

毎年春の少年教室では洋菓子（クッキー）づくりを行っていた。今年度は「普段の生活とは異なる体験をさせる」という少年教室のねらいの原

点に戻り、日常であり馴染みのないと思われる和菓子づくりの教室を開催した。参加者のほとんどが和菓子をつくるのが初めてで、また日常でも食べる機会が少ないということで非常に楽しんでもらえたため、「伝統文化」「四季」を大切にしたい体験型の講座をこれからも企画したい。

またいままでの講座では、子どもにやらせると難しい・散らかる等の理由で、粉ものを使用するときは講師が事前にはかり準備していた。今回は粉や水の分量をはかるところから子どもが行った。より今後の生活に生きる内容となったと思う。

## 高齢者教室

### (1) ねらい

- ①高齢者の「生きがい」、「他世代との交流」をキーワードに仲間との交流だけでなく、世代間の交流を深め、進んで知識や教養を高める。
- ②積極的に地域活動に参画できる手がかりとする。

### (2) 概要

地域の高齢者を対象。しめ縄づくりでは、地域の小学生とその父母も対象にして世代間の交流を図る。

### (3) 内容

回	日時(場所)	学習内容	学習方法	講師	参加人数
1	11/18 (金) 10:00～ 12:00	「いきいき健康教室」 ～本当は身近な糖尿病～	講義	前橋市健康増進課 職員	28
2	12/9 (金) 9:30～ 11:30	しめ縄作り事前学習 (しめ縄の由来、しめ縄作り の実習)	講義 学習	地域協力者	16
3	12/17 (土) 9:30～ 11:30	世代間交流 しめ縄作りの指導 (地域の子も達やその父 母に対する指導)	講義 実習	地域協力者 及び老連役員	17
4	1/20 (金) 10:00～ 12:00	「はじめての川柳」	講義	前橋川柳会 会長 田中 進	28
5	1/25 (水) 10:00～ 12:00	「古文書に親しむ」	講義	群馬県立文書館 指導主事 関口 荘右	24
6	2/3 (金) 10:00～ 12:00	「群馬絹産業の礎となった 養蚕農家と伝承文化」	講義	民俗研究家 酒井 正保	20

### (4) 評価と反省

地区老人クラブ連合会と連携・協力し運営を行った。開催時期については老人クラブ連合会との協議で今回も冬季の開催となった。

講座内容については、話題性の高いものや健康面を中心に設定し、身近なテーマで参加しやすい内容とした。アンケート結果も概ね好評だった。

毎年実施しているしめ縄づくり教室では、老人クラブ役員が地域の子もたちや若い父親、母親に対して昔からの伝統行事であるしめ縄飾りの作り方を教えながら世代間の交流も図ることができた。





<第3回しめ縄づくり>



<第5回「古文書に親しむ」>

## 生涯学習奨励員研修

### (1) ねらい

①町ぐるみ、地域ぐるみの生涯学習活動を一層推進し、具現化するための知識、技術などを学ぶとともに、各町での取り組みについての情報交換もあわせて行う。

### (2) 概要

生涯学習奨励員及び自治会長を対象に研修を行い、地域づくりを意識した生涯学習活動について学ぶ。

### (3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	11/22 (火) 野外学習 8:00～ 17:00	野外研修 ・沼田市 「城址公園」「正覚寺」「河岸 段丘」「上州沼田真田丸展」 「吉祥寺」	視察見学	施設担当者、地 解説員	25
2	3/7 (火) 下川淵公民館 19:00～ 20:30	「生涯学習と地域づくり～澤柳 政太郎と峯岸米造～」	講義・討議	前橋市文化スポ ーツ観光部 参事 手島 仁	

### (4) 評価と反省

第1回の野外研修で訪れた沼田市では、日本一有名な河岸段丘を視察し、その自然の形成で高さ80mの崖を防壁に利用した堅城沼田城をめぐる歴史背景について学び、大河ドラマ「真田丸」の舞台となった沼田城址を中心に真田丸展や正覚寺などを訪れた。歴史文化遺産掘り起こしという点で自治会長、奨励員が同じ情報を共有できたのは有意義であった。

第2回は、前橋市文化スポーツ観光部 参事 手島 仁氏を講師として、生涯学習と地域づくりと題し、澤柳政太郎と峯岸米造について学ぶ。



< 第1回研修（野外）28.11.22 >

## 地域づくり講座

### 普通救命講習会

#### (1) ねらい

傷病者の発生や災害などの不測の事態に備えるために、適切な応急手当の知識及び技術を学ぶ。

#### (2) 概要

中学生以上の地区住民を対象として実施。応急手当の基礎知識に関するDVDを鑑賞後、3班に分かれて実技指導を行った。

#### (3) 内容

月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師	人数
7/10(日) 13:30～17:00	心肺蘇生法、AED 使用法	講義及び実技	前橋市消防局南消防 署救急隊長 琴寄 敏行	12

#### (4) 評価と反省

4年連続で本講習会を開催している。昨年に引き続いての参加や夫婦で参加の人など、地区住民の救命や応急手当に対する意識の高まりを感じた。少人数の班編成により丁寧で細かな指導のおかげで、各班で質疑応答が活発に行われ、参加者は熱心に取り組んでいた。

救急の際に何をすべきかの意識と対応能力の向上につながるものと考え、より多くの人に習得させるために、今後も定期的を開催したい。



普通救命講習会



在宅介護者リフレッシュ講座

### 在宅介護者リフレッシュ講座

#### (1) ねらい

①在宅介護者が日々の介護から一時離れ、心身のリフレッシュを目的とし、何でも話せる交流の場を作る。

②ケアマネージャー等の専門職から、腰痛予防や介護技術、在宅介護における最新の制度や知識を学べる機会とする。

#### (2) 概要

下川淵地区の在宅介護者または講座に関心のある方を対象と、全5回の連続講座として開催した。

### (3) 内容

学習時間 午後 1 時 3 0 分～ 3 時 3 0 分

	日 時	内 容	講 師
1	1 0 月 2 6 日 (水) 13:30～15:30	・介護保険の最新情報を聞こう！ ・腰を痛めていませんか。腰痛予防体操	前橋市介護高齢課職員
2	1 1 月 1 7 日 (木) 13:30～15:30	・介護者支援の取り組み紹介 ・在宅介護を頑張りすぎていませんか 「ケアマネージャーに聞いてもらおう、聞いてみよう」	地元介護事業所 鶴 亀の里ケアマネージャー 野本 邦子
3	1 2 月 1 7 日 (土) 13:30～15:30	・いざというときの介護施設ってなに？ ・介護施設はどれくらいのお金がかかるの？	地元介護事業所 桜桃園ケアマネージャー 内田 裕子 他
4	1 月 1 9 日 (木) 13:30～15:30	・腰を痛めていませんか。在宅介護技術体験について学ぼう	前橋市社会福祉協議会ヘルパー
5	2 月 1 6 日 (木) 13:30～15:30	・参加者交流 何でも話そう！ 「ここで話したことはここだけに」	

参加人数 (受講者と下川淵地区介護者ファミリーサポート出席者の合計)  
第 1 回 : 1 8 人 第 2 回 : 1 6 人 第 3 回 : 1 4 人 第 4 回 : 1 2 人  
第 5 回 : 1 3 人

### (4) 評価と反省

下川淵公民館自主グループである下川淵地区介護者ファミリーサポートと共催して、同講座を企画し開催した。ケアマネージャー等の専門職から、腰痛予防や介護技術、在宅介護における最新の制度や知識を学ぶとともに実技体験もした。その結果、心身のリフレッシュと話し合いを通しての交流が図られ、在宅介護という生活・地域課題を少しでも軽減されるという点で、とても有意義であったと思う。

### 花と緑の講座(環境講座)

#### (1) ねらい

下川淵地区の地域づくりの一環として、「花と緑の講座」を花結びの会と共催で開催し、各町や地区の方々の花づくりに活かすとともに、地域の方たちとの交流をとおして、地域の環境づくりへの参画の手がかりとする。

#### (2) 概要

対象者 : 主に下川淵地区在住・在勤の一般成人 24人

共催 : 花結びの会

募集方法 : 館報に掲載、自治会回覧、チラシ掲示

(3) 内容

月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師	人数
3/6 (月) 10:00~12:00	ウッドプランター作り 春の花の寄せ植え	実習	吉田 美津子	24

(4) 評価と反省

共催者である花結びの会は、公民館事業から結成され、現在、地域にある横手わせだ緑地公園の花ゾーンの管理を同公園愛護会から委託されて行っている会である。この講座を通し、年々高齢化している花結びの会の新規会員獲得の手助けとしたい。

緑に親しむことにより、地区の花づくり、環境づくりにつなげ、地域づくり協議会環境部会の活動とも結びつけていきたい。

## 自主学習グループ支援事業

### (1) ねらい

- ①下川淵公民館を利用して文化やスポーツ等の学習活動をしている自主グループの会員が、互いに学び合い交流を深める。
- ②より良い生涯学習活動や地域文化の向上について考え合う場とする。

### (2) 概要

対象は、下川淵公民館を定期的に利用する自主グループ会員。第1回と第3回は公開講座とし、公民館報や回覧などで広く周知した。

### (3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容等	学習方法	講師	人数
1	7/19(火) 14:00～ 15:30	講演・体操 『膝体操』で元気に生活	講義・ 実技	善衆会病院長 木村 雅史 理学療法士4 人	123
2	10/4(火) 6:30～ 19:00	野口雨情記念館、茨城県天心 記念五浦美術館 ほか	野外 研修		85
3	1/27(金) 13:30～ 15:30	下川淵寄席「落語とマジック」	鑑賞	木村 俊夫 吉井 学	71

### (4) 評価と反省

研修内容は、自主グループ連絡協議会の本部役員会議及び代表者会議で検討した。当日の役割も本部役員で分担して、自主的に運営を行った。

講演・体操は、健康・介護予防等の講義の後、「膝体操」の実技指導をしていただき、参加者にとって日常生活上、大変有意義であった。

野外研修は、企画立案や旅行会社との打ち合わせ、さらに現地の下見まですべて本部役員が主体的に行い、会員同士が親睦を深め合う良い機会となった。

下川淵寄席は下川淵地区在住の方を講師に、素晴らしい「落語とマジック」をしていただき、参加者にとって楽しいひとときになったと思う。



講演・体操『膝体操』で元気に生活



下川淵寄席